

# 議会だより しらおか Shiraoka



新白岡駅西口  
篠津中学校「みんなの白岡 祝10周年」



新白岡駅東口  
菁義中学校「梨とともに成長していく白岡市」



白岡駅西口  
白岡中学校「未来輝くしらおか」



白岡駅東口  
南中学校「(10歳) 古代蓮見れます!白岡市って天才!」



- P 2 令和3年度 一般会計決算
- P 4 令和3年度 特別会計・公営企業会計決算
- P 5 令和4年度 補正予算
- P 6 一部事務組合同規約・条例等
- P 8 一般質問
- P 16 委員会活動報告
- P 17 審議結果
- P 18 議会日誌・編集後記

市制施行10周年記念事業の階段アートが完成しました。原画は市内4中学校の美術部の生徒が制作しました。

※表紙のテーマは「白岡市制施行10周年 ー白岡市の歴史と未来ー」です。

## No.217

2022.11.1

白岡市のホームページで議会の情報（議案・議事録）が見られます。http://www.city.shiraoka.lg.jp/gikai/



白岡市議会 ホームページ  
白岡市議会 ホームページ  
白岡市議会 ホームページ  
白岡市議会 ホームページ

## 《9月定例会》

8月25日から9月20日までの27日間にわたり定例議会が開かれ、行政報告2件、市長提出議案23件、議員提出議案2件を審議しました。

### 【審議結果】

- ・市長提出議案23件…同意・可決  
認定
- ・議員提出議案2件…可決・否決

## 決算規模概要

予算現額	188億6332万5千円
歳入決算額	181億3664万3千円
歳出決算額	171億6486万4千円
差引残額	9億7177万9千円
実質収支	7億4549万9千円

## 秘書広報課

**問** 市のふるさと納税の収支はどうか。

**答** 参考の数値となるが、3年度の寄附額は3300万3千円、4年度の寄附金控除差引額は1336万5371円で、ふるさと納税事業の歳出額を減じ、地方交付税の収入から差し引かれる額を1億24万28円とし、これを加えたマイナス約1500万円が収支となる。



## 道路課

**問** 側溝蓋掛<sup>ふたか</sup>け事業費約840万円に対し支出済額が約785万円である。予算を執行するにあたり、ほかの路線についても工事を行うことができたのではないか。

**答** 次に検討している路線については予算が見合わなかった。今後は不用額を残さないよう検討していきたい。

令和3年度

# 一般会計歳入

## 財政課

**問** 以前、財政課が把握していない各部・各課が所有している車両があるとのことだった。全台一括で管理、少なくとも把握すべきと考えるが、できているのか。

**答** 財政課以外で所有している、その課特有の事業で必要となる車両の台数も把握している。財政課管理の公用車は、削減の方向で動いている。

## 企画政策課

**問** 白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクト事業で日本サッカー協会と連携したとのことであるが、具体的な内容は何か。

**答** 日本サッカー協会による「夢の教室」を実施した。元プロサッカー選手をはじめ、様々なアスリート等に講師になってもらい、市内の小学5年生を対象にオンラインで70分程度の特別授業を実施した。

## 健康増進課

**問** 子宮頸がんワクチン<sup>けい</sup>の任意接種の費用助成が始まった。HPVワクチンを全面に出しているが、「子宮頸がん予防ワクチン」と市民にわかりやすいようにしてほしい。

**答** 市民にわかりやすい表記にする。

しっかりと



# 歳出決算をチェック

## 学び支援課

**問** 篠津の青雲寺しやううんじで古い仏像が発見されたとのことであるが、策定された文化財保存活用地域計画とは関連しているのか。

**答** 青雲寺の仏像調査は、文化財保存活用地域計画に則って実施したものである。発見された仏像は、平安時代末期に製作されたものと推定される。今後の措置については、文化財保存活用地域計画に基づき、市指定文化財として新たに指定を行うなど、保存・活用を行っていく。

## 総括質疑

**問** 決算は、市の行政の成果である。については、行財政改革推進の実施目標を余裕でクリアしている状況で、市の現状と行財政改革に対する理解を市民に深めてもらい、そして、職員が共通の認識をもって意識改革を行えたとするには無理がある。行財政改革推進が目指す、財政の健全性を担保する上で、決算時にどのような数値等を示すのが妥当と考えているのか。

**答** 行財政改革方針における実施目標は、これまでの本市の財政運営を踏まえ、今回目標に掲げた4指標を確保・堅持すれば、将来にわたり予算が編成可能であるとの考えの下、設定したものである。しかし、職員が共通認識を

持って意識改革を行うために、同方針の実施目標とは別に、職員にとってわかりやすい指標・数値目標の設定を検討していきたい。

**問** 歳出の義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、2年度より上回った。要因と今後の見通しは。

**答** 3年度の増加要因は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業の皆増や、子育て世帯等臨時特別支援事業に係る経費の増加などにより、扶助費が大きく増加したためである。扶助費は、生活支援が必要な方の増加に伴い、更に増えるものと考えられ、今後も、義務的経費の割合が市の財政に大きな負担になるものと想定される。市では、財源の確保や既存事業の見直しなどを進め、健全な財政運営に努めていきたい。



## 討 論

**反対** 市は、消費税の引下げを国に対し、要望すべきだ。また、エネルギー政策の課題に対し、市の取組は遅れていると指摘する。マイナンバー制度に対しては、安全性の担保や費用対効果を考え対応すべきだ。

**賛成** 賛成討論なし。

→ **認定**

## 令和3年度 特別会計決算

議案  
第64号 ▶ 認定

### 国民健康保険

**問** 災害臨時特例補助金は、新型コロナウイルス感染症対応分とのことだが、3年度の申請件数等は。

**答** 15件であり、240万8千円の減免を行った。

議案  
第65号 ▶ 認定

### 後期高齢者医療

**問** 健康診査の受診率27.3%は、県平均と比較するとどのような状況か。

**答** 県平均は31.5%で、本市とは4.2ポイント差がある。また、県内63市町村中、31位である。

#### 反対討論

県後期高齢者医療連合は、3年度保険料の軽減制度を改悪した。さらに、10月1日から一定以上所得のある人の医療費の窓口負担は2割になる。このような連続の加入者への負担増には反対である。

#### 賛成討論

後期高齢者医療は、高齢者の増加とともに欠くべからざるものとなっている。当該制度の健全性を保ち存続していくために、窓口支払いの増加など厳しい対応は理解でき賛成する。ただし、困窮している後期高齢者に対し、手厚い対策を講じるべきだ。

議案  
第66号 ▶ 認定

### 介護保険

**問** 高齢者虐待に関する相談件数と相談内容は。

**答** 3年度の相談件数は、2年度の4件から27件へと増加した。内容については、家族間の口喧嘩げんかによるものが地域包括支援センターへ

寄せられた他、警察から通報があった事案として、施設職員による虐待の疑いや、甥おいからの暴力に関するものがあった。

#### 反対討論

介護保険に対する国の負担割合のうち、5%を調整交付金としているが、市の場合0.52%という低い支給は不当である。高い保険料と利用料の負担で制度があっても利用できない人もいる。このようなことは改善すべきだ。

#### 賛成討論

歳入・歳出では、前年度と同程度である。介護予防や訪問介護のサービス提供、シニア元気アップ教室の再開など、事業内容も評価できる。適正な執行がされたと認める。

議案  
第67号 ▶ 認定

### 白岡駅東部中央土地区画整理事業

**問** 執行率92.7%について、担当課としてどのように捉えているか。

**答** 事業は予定通り執行することができたので、適正なものと考えている。維持補修事業や権利者からの申請に基づく予算を確保していたことから、申請の件数等に応じて、不用額となったものである。

## 令和3年度 公営企業会計決算

議案  
第68号 ▶ 可決  
認定

### 水道事業

**問** 昨年度処分した未処分利益剰余金を組み戻して、また剰余金に戻している。適切な会計処理ではないと思うが、いかがか。

**答** 2年度の未処分利益剰余金は、全額を減債積立金に積み立てることを議会定例会で可決している。この減債積立金は全額償還金に充てられたため、未処分利益剰余金に戻ったもの。適

### 令和3年度 特別会計決算

議案	区分	歳入	歳出	差引額
第64号	国民健康保険	50億 214万4千円	46億 7787万1千円	3億 2427万3千円
第65号	後期高齢者医療	6億 8556万4千円	6億 8095万3千円	461万1千円
第66号	介護保険	37億 9110万7千円	36億 2426万2千円	1億 6684万4千円
第67号	白岡駅東部中央土地区画整理事業	2億 5600万3千円	2億 77万4千円	5522万8千円

### 令和3年度 公営企業会計決算

議案	区分	総収入	総支出	経常利益	当期末処分利益剰余金
第68号	水道事業	10億 9392万0千円	8億 8120万7千円	2億 1271万2千円	3億 7131万2千円
第69号	下水道事業	9億 4384万3千円	9億 1802万5千円	2581万7千円	5272万6千円
第70号	農業集落排水事業	8336万4千円	8265万7千円	70万6千円	141万6千円

切な会計処理で妥当であると判断していただいたものと認識している。

**議案 第69号 ▶ 可決 認定** **公共下水道事業**

**問** 実質的に赤字経営にもかかわらず純利益を計上している。経営状況が「適切」ではないと思うが、監査委員はどう判断したのか。

**答** 一般会計からの繰入金を受け入れなければ損失となることはご指摘のとおり。決算審査は意見書のとおり、関係法令に基づいているか、計数は会計帳簿上正確であるか、一般会計補助金等が収入されている事実を含めて経営成績や財政状況が適切に表示されているかにおいて「適切」とご判断いただいたと認識している。料金改定後も更なる経営の効率化の検討を行う。

**反対討論**

①実質的に赤字経営であるのに利益を計上しているのは経営状態を正確に反映しておらず妥当を欠き、②監査が計数の誤りを看過していて適正を欠き、③審議不十分であるため、正当なものとして認定することはできない。

**賛成討論**

埼玉県の下水管の延長は埼玉県から兵庫県まで届き、日本中の下水管は月まで届くといわれている。その建設及び更新費用が税で賄えない。また、コンパクトシティの考えとも矛盾している。下水は重要な設備であり、継続させることが大切だ。

**議案 第70号 ▶ 可決 認定** **農業集落排水事業**

**反対討論**

実質的に赤字経営であるのに利益を計上しているのは経営状態を正確に反映しておらず妥当を欠いている為、認定することはできない。

**賛成討論**

第69号議案と同じである。工業団地に配管した後、農業集落排水事業の排水は市の下水に接続されると聞いている。妥当な手法である。

人口減で全国の農業水落排水事業は同じ運命をたどるはずであり、大きな転換点だ。当議案に賛成である。

**令和4年度 補正予算**

**議案 第58号 ▶ 可決** **一般会計補正予算(第6号)**

新型コロナウイルス感染症予防接種事業、白岡中央総合病院の移転先予定地の道路整備推進事業、学校施設維持管理事業、電気代高騰対応などに使用するものである。

**問** 繰越金はどのように割り振られたのか。ルールはあるのか。

**答** 降雪により被害を受けた農業者支援や各種事業に活用している。2分の1以上を財政調整基金に積み立てる規定がある。



**議案 第59～62号 ▶ 可決** **特別会計補正予算**

前年度決算の確定により予算の組み換えを行ったものである。

**白岡駅東部中央土地区画整理事業**

**問** 維持補修事業の詳細を伺う。

**答** 2件ある。1つは、中央公民館から郵便局へ行く道路の舗装補修するもの。もう1つは調整池の電気設備の修繕である。

**議案 第72号 ▶ 可決** **一般会計補正予算(第7号)**

新型コロナウイルスに係るオミクロン株対応ワクチン接種及び小児の3回目接種を実施するためのものである。



令和4年度 補正予算

議案	区分	補正前予算額	補正額	補正後予算額
第58号	一般会計(第6号)	165億 6160万 2千円	7億 4221万 6千円	173億 381万 8千円
第59号	国民健康保険(第1号)	45億 4226万 8千円	1億 594万 7千円	46億 4821万 5千円
第60号	後期高齢者医療(第1号)	8億 135万 5千円	261万 1千円	8億 396万 6千円
第61号	介護保険(第1号)	36億 6323万 4千円	1億 7889万 9千円	38億 4213万 3千円
第62号	白岡駅東部中央土地区画整理事業(第1号)	1億 2802万 7千円	970万円	1億 3772万 7千円
第72号	一般会計(第7号)	173億 381万 8千円	1億 6341万 6千円	174億 6723万 4千円

## 一部事務組合格約

議案  
第57号

可決

### 埼玉東部消防組合の 規約変更について

規約第14条（経費の支弁の方法）の一部を変更。これまで単独経費（所在市町負担）は、土地取得、庁舎建設、庁舎大規模改修、防火水槽設置であった。一部変更は、それらに加え、防火クラブ等、その他必要な事業等を追加したことである。なお、単独経費以外の組合運営にかかる経費は共通経費（組合市町負担）とした。

議提案  
第3号

可決

### 議案第57号「埼玉東部消防組合の規約変更について」に対する附帯決議

本議案の規約変更において単独経費となっている庁舎建設及び庁舎大規模改修については、共通経費とすることで、消防施設の平準化が図られ、長期的な計画に基づいた組合施設の維持管理・更新が可能になるとともに、安定した消防業務執行体制の整備及び消防組合職員の職場環境の向上に寄与するものである。

よって、白岡市議会は、令和4年3月に策定された埼玉東部消防組合個別施設計画において定められている個別施設の第Ⅰ期の建て替え又は大規模改修の実施に間に合うよう、庁舎建設及び庁舎大規模改修に係る経費を早期に共通経費とするよう強く求める。

以上、決議する。

白岡市議会



白岡消防署

## 条例等

議案  
第52号

可決

### 職員の育児休業に関する条例の一部改正

非常勤職員等の育児休業の取得要件を緩和するため、条例の一部を改正した。

**問** 改正後の内容で正規職員との違いはあるか。

**答** 非正規職員の場合は任期が決まっているため、在職期間の要件を「子が1歳6か月に達する日まで」から「子が8週間と6月を経過する日まで」とした。正規職員と違いはあるが、出来る限り正規職員と同じように育児休業を取得できるよう改正をした。

**問** 今後、会計年度任用職員が育児休業を取得した場合、職員が抜けた後のサポートはどのようにするのか。

**答** 当該職員が育児休業を取得した場合は、代替手段をとる必要がある。

議案  
第54号

可決

### 手数料条例の一部改正

コンビニエンスストア等に設置された端末機から証明書等を交付する自動交付サービスの導入に伴い手数料を新たに定める。また、建築基準法及び長期優良住宅の普及の促進に関する法律の改正に伴う条例改正も行う。

**問** 住民票の写しや印鑑登録証明書を窓口で取得した場合は200円、コンビニ交付を利用した場合は150円ということだが、差額の50円は市が負担するということか。

**答** 市が負担する。



**問** 窓口交付よりコンビニ交付を50円安価にし、コンビニ交付の利用促進を図るということだが、人件費などそのメリットをどう考えているか。

**答** 一義的には、市民の身近なコンビニで、市役所が閉庁しているときでも証明書等が取得できることから市民サービスの向上が図られるため、コンビニ交付の手数料を安価にし、普及促進を図るものである。そのことによって、すぐに人件費などに反映されないが、将来的には削減が図られるものと考えている。

議案  
第56号 ▶ 可決

### 特別職職員で非常勤 のものの報酬に関する 条例の一部改正

いじめの重大事態が発生した際に調査を実施するいじめ防止対策推進委員会委員及びいじめ問題再調査委員会委員の報酬額を改定した。

**問** 委員の報酬額を改定するに当たり、参考にしたものは何か。どのような根拠に基づくものか。

**答** 委員の一人を弁護士としているが、弁護士の法律相談料は30分5500円で、いじめ調査等に要する時間が1回2時間程度かかることから、日額2万2000円と定めている。弁護士の報酬額は、他の委員2万円より高くしている。再調査委員についても、同様の職務と責任を担うことから、同額としている。

**問** いじめ防止対策推進委員会の臨時会の委員の人はどのように行われたのか。

**答** いじめ防止対策推進委員会の委員の中から、互選により決定されたところである。

**問** 報酬額を引き上げなければならないという認識は、今回の重大事態を受けてのものなのか。

**答** 他市町の報酬額を調査したところ、本市の報酬額は、調査した15市町のうち下から4番目に低い額であった。この結果を受け、報酬額を引上げる必要性を認識した。

### 反対討論

学校での「いじめの重大事態」の発生を防止できなかったいじめ防止対策推進委員は、自らの責任を認め、謝罪と説明を行うのが先である。それもなく「報酬だけ引き上げてほしい」という議案には賛成できない。また、防止側と調査側の兼職は制度としておかしい。

### 賛成討論

専門的知識を有する者の報酬が高いのは、常識である。組織設置の違法性を問題とした反対討論があったが、文部科学省の示すとおり組織は設置されており、なんら問題はない。議案の趣旨から外れるにしても、せめて法律や制度を理解した上で議論願いたい。

議案  
第71号 ▶ 同意

### 教育委員会教育長の 任命について

白岡市教育委員会教育長 ながしま ひで お長島秀夫氏が4年6月30日をもって辞職したため、後任として よこまつ しんじ横松伸二氏を任命した。

議提案  
第4号 ▶ 否決

### 安倍晋三元首相の 国葬に反対する決議

4年9月27日の安倍晋三元首相の国葬に、白岡市議会として反対を表明する決議案。

### 反対討論

安倍元首相は憲政史上最長の政権をなし、国際的な業績をみても国葬にふさわしい。選挙期間中に銃撃で亡くなられた事も考えると国全体で弔意を示す事が重要だ。内閣府設置法では国の儀式の執行は行政権に属し、閣議決定で国葬儀を実施することは可能と考える。

### 賛成討論

過半数の国民が反対している中で、強行すべきではない。主な理由は2つ。1つ目は、行政の長に過ぎない内閣総理大臣の国葬に法的な根拠がないにも関わらず、国会で議論を尽くしていないこと。2つ目は、国費を投入すること。国民の血税を何だと思っているのか。

# Q&A

## 一般質問

# 市政のそこが聞きたい!

9月定例議会の一般質問は、17名の議員が47項目について行いました。

### ◆山崎 巨裕 議員

- 公共施設のクールシェアスポット活用について
- 学校給食費の一部補助について

### ◆黒須 大一郎 議員

- 未来を見据えた社会基盤を(Ⅱ) ○特産品の開発状況は
- 地域部活動推進事業を進めるに当たって

### ◆加藤 一生 議員

- 南小学校と天使幼稚園の間の道路の車歩道分離化について
- 市のHPに掲載されている「新白岡駅周辺地域におけるエリアマネジメントの推進に関する協定締結」について

### ◆関口 昌男 議員

- マイナンバー制度の普及状況と様々な課題について
- 人事院勧告と白岡市役所で働く労働者の給与改善について
- 「白岡市パートナーシップ宣誓制度」の制定を歓迎する

### ◆石渡 征浩 議員

- 行財政改革の進捗状況について
- 令和5年度の予算編成方針について
- 過去の地方創生臨時交付金活用の振り返りと今後の方向感について
- 交通安全対策とそのフィードバックについて

### ◆中村 匡志 議員

- ウクライナ戦争の影響による肥料高騰をふまえた市内農業の持続可能性について
- いわゆる「農地法上の許可を条件とする売買」について(つづき)
- 長すぎる建築行為による騒音等の被害について
- 市道128号線の改良等について ○教育委員会の情報公開について
- 幼児の自転車乗り場について ○こもれびの森の利便性の改善について
- フォロ・シラオカーノ(foro Shiraokano)の形成に向けて〜グランドデザインのある街づくり(前半)

### ◆渡辺 聡一郎 議員

- バリアフリーのまちづくりを ○一歩進んだ教育環境づくりを
- 歯科検診の事業縮小について

### ◆斎藤 信治 議員

- 保育の質の向上を ○電力のひっ迫に対して

### ◆中山 廣子 議員

- 投票環境向上の取組について ○困難女性支援法について
- 子育て世代に寄り添う取組について

### ◆中川 幸廣 議員

- 路線バス運行後の状況と「市」としての支援について
- 市内の各小学校や中学校で、土曜日や日曜日に学校開放時に使用する道具や設備について

### ◆細井 公 議員

- 白岡篠津線の現状について ○白岡駅の駅員不在の問題について

### ◆菱沼 あゆ美 議員

- 防災の強化について ○降雹被害の支援について
- 高齢者の孤立を防ぐ取組について
- アピアランス(外見)ケアについて

### ◆遠藤 誠 議員

- 学校におい(教育支援センターは、学校においがするのではないか。)
- 教育機会の多様化について
- 有害な男らしさ(男らしさは男女間格差を助長していないか。)

### ◆松本 栄一 議員

- 通学路及び生活道路の安全対策について
- 地域部活動推進事業について

### ◆野々口 真由美 議員

- 行政のDXについて ○情報の届け方と活用について

### ◆石原 富子 議員

- 介護保険事業計画の見直しについて

### ◆大島 勉 議員

- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトへのエントリーについて

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。

## 問 公共施設にクールシェアスポットを

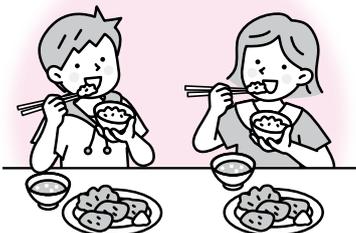
「命にかかわる暑さ、我慢せずエアコンを」というメディアの呼び掛けをよく耳にした。しかし、何らかの事情でエアコンが使えない方々もいる。そうした方々が身近で涼が取れるよう市の公共施設をクールシェアスポットとして活用してはいかがか。

## 答 クールシェア登録施設の増加を検討

県では熱中症対策として「まちのクールシェア」推進事業を行っている。市の公共施設としては、市役所庁舎及びはびすしらおかの2か所を登録している。熱中症対策の一時避難場所として活用していただくとともに、施設の利用について広く周知する。



山崎巨裕 議員  
(日本共産党)



## 問 学校給食の一部補助を来年度も

食材費高騰にもかかわらず、今年度の給食費は値上げせず、高騰部分は市が補助するとのこと。これは、子育てを励ますものであり、市の英断である。物価高騰の先行きは不透明だが、来年度も給食費は値上げせず、食材費高騰部分は市の補助継続を願う。

## 答 保護者の負担を増やさないように努める

今後も物価の高騰が続いたときには、学校給食費の改定について検討せざるを得ない場合もあると考える。しかし、国の補助金を活用するなどして保護者の負担を増やさないように、質・量ともに維持した給食の提供に努めていく。



黒須大一郎 議員  
(白岡ビジョン)

**問** 地域部活動推進事業を進めるにあたり

9月1日現在、他に先駆けて進めている本事業を教育長が不在では万全の体制で進められるとは言い難い。市長は教育長の任命責任者として、教育長の後任をいつまでに決めるのか。また、現在はどの段階なのか。

**答** 教育委員会一丸となって本事業を進める

教育長不在という状況が、本事業の推進に影響を与えることのないよう、教育委員会一丸となり、万全の体制で本事業を進めていく。また、教育行政を円滑に推進するため、議会の同意を得て1日も早く教育長を任命したいと考えている。

**問** 事実と違う回答を市長への手紙でしたのか

今年7月8日の市長への手紙における20代の方からのさいたま栗橋線沿いの歩道整備等の要望で、「県では関係地権者との交渉を行っている」と回答した。地元地権者に聞いてもそのような動きは最近ない。市長への手紙の回答はなぜ事実と異なることになったのか。

**答** 県に要望を続けていく

県道さいたま栗橋線の歩道未整備区間については、地権者からの相談を受けた場合に埼玉県では交渉を行っているとのことだが、平成18年度の土地の買収以来、事業が進捗していない。歩行者の安全確保のため、引き続き整備を要望していく。



平成23年に同意書を提出しているが、歩道整備が止まっている篠津の県道3号線



加藤一生 議員  
(新風の会)

**問** 「エリアマネジメントの協定締結」は

①「エリアマネジメント」とは何か。「協定」の中身は。成果をいつまでに出すのか。②区長に提案し、全市民にその活動を開始してもらいたいではないか。③この「協定」の進捗状況及びその内容はどのように公開・報告されていくのか。

**答** 新白岡駅周辺地域で取組を推進していく

住民・事業主・地権者等が主体となって地域の価値を向上させるまちづくりの手法である。新白岡駅周辺地域における当該手法の取組推進について、街活性室(株)と協定を締結した。取組の内容や成果については、機会を捉え、市民や議会に周知・報告していく。

**問** 天使幼稚園の前の道の車歩道分離化は

①現在、当該道路箇所の車歩道分離化の動きはどうなっているのか。②いつ実現されるのか。

**答** 交通安全施設を活用した整備を進める

①車歩道分離化は、幅員が6mの道路のため、新たに歩道を設置することは難しいが、交通安全施設を活用するなど工夫をしながら、安全と排水先の確保のため整備を進めていく。②現在、測量設計を実施しているため、工事着手は、来年度以降の見込みとなる。



天使幼稚園の前の道路

**問** パートナーシップ宣誓  
制度導入を歓迎

市はパートナーシップ宣誓制度を導入する計画を進めているがどのような日程で計画しているのか。また、この制度の中にどのような内容を盛り込んでいく予定か。さらに、近隣の都市との連携はどのように検討しているのか。制度の普及はどのように進めていくのか。

**答** 広域連携等のより良い  
制度を検討する

市では、5年1月1日制度導入を目指している。市民や転入予定者は、国籍を問わず対象とし、近隣市町との広域連携を協議していく。広報紙や市公式ホームページへの掲載、公共施設へのポスター掲示等により制度の普及を図っていく。



関口昌男 議員  
(日本共産党)

**問** マイナンバー制度の  
普及状況と課題

マイナンバー制度は、普及が進んでいない。市ではこの普及の為に現在どのくらいの経費をかけているのか。現在は、健康保険証として利用されているが、これからどのような計画でこの利用を拡大しようとしているのか。また、情報盗難の恐れはないのか。

**答** 制度の普及促進と適切な  
運用に努める

国補助金約2300万円を活用してマイナンバーカードの普及促進を図っている。6年度中に運転免許証、7年度中に外国人在留カードとのマイナンバーカードの一体化が予定されている。特定個人情報の漏えいのないよう、安全管理措置に万全を期する。



**問** 地方創生臨時交付金の  
活用について

新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策として住民税非課税世帯には厚い手当がなされてきたが、一般家庭に分類される住民税の均等割のみ支払っている世帯に対しては、相対的に支援が薄いと思われるが、どう考えているのか。

**答** 支援が必要な方への  
着実な支援を進める

地域の実情に応じた支援が可能な地方創生臨時交付金の目的から、市では、支援が必要な市民の皆様などを把握しながら、着実に支援を実施している。住民税均等割のみ課税されている世帯についても、その支援の可能性を検討する。



石渡征浩 議員  
(TSUNAGU)

**問** 交通安全対策と  
フィードバックについて

一般道路についても、通学路と同様、市が主体的・積極的に、危険箇所や地域住民の要望を情報収集する取組が必要と考える。また、側溝への蓋がけも含め、対応状況と今後の見通しを定期的に行政区にフィードバックすべきと考えるがいかがか。

**答** 情報収集とフィード  
バックを図っていく

市道の危険箇所について、行政区長会に情報提供を依頼するなど、より一層の情報収集に努める。

要望への対応状況については、次年度以降にフィードバックしていきたい。今後も実態に即して事業個所の優先順位が決められるよう努めていく。





中村匡志 議員  
(創政会)

**問** 市内の農業を守る  
肥料高騰対策を

昨年末の一般質問で米価暴落と原油価格高騰の対策を求めたのに対し、種苗費と燃料費の助成制度を導入していただき感謝する。しかし、今年に入り肥料が高騰して農家経営に追い討ちをかけている。影響と対策、しらおか味彩センターの米買取拡大について伺う。

**答** 国や県の動向を  
注視していく

農業者支援における国や県の動向を注視するとともに、市としても事業者支援の一環として、肥料コスト上昇分の支援について考えていく。

現在のしらおか味彩センターの状況では、買取量を増やすことは困難である。

**問** 市内に幼児の  
自転車乗り場を

最近では子ども向け自転車の改良により、満2歳頃から補助輪付き自転車に乗っている。安心安全の観点から道路ではなく公園を乗り場とすべきだが、市内の公園では自転車の乗入れが一律に禁止されている。子育てのしやすさと安心安全の観点から対策を伺う。

**答** 総合運動公園中央通路の  
利用を周知

補助輪付きの自転車等については、大人の立会いのもと、総合運動公園中央通路の利用を開放している。今後は、この場所は幼児が自転車を練習できる場であることを、看板等を設置して利用者に周知し、公園利用の拡充を図っていく。



さらに、下田公園（荒井新田）も  
幼児の自転車練習に開放



渡辺聡一郎 議員  
(新風の会)

**問** まち全体の  
バリアフリー推進を

現在のバリアフリーの取組は個々の施設等に限られ、まち全体の一体的な取組まで至っていない。歩車道の分離、歩道段差の解消、誘導設備等の充実に面的に取り組むことが必要だ。バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進計画を策定すべきではないか。

**答** 計画策定の必要性を  
検討していく

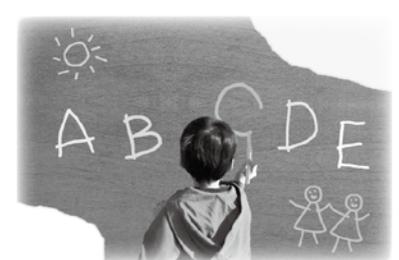
バリアフリー及びユニバーサルデザインの取組については、障害福祉や街づくりなどの各分野の計画に基づき、適切に実施している。今後は、関連計画の見直しの過程で各種委員の意見を伺うなどして、計画策定の必要性を検討していく。

**問** 「使える」英語を  
目指した英語教育を

これまでの英語教育では実際の会話で英語を使えるまで上達することは難しい。「話す事・聞く事」を養う英語教育が重要と考える。学校生活の中で英語だけで生活する時間を作る、または英語で過ごす学童保育所等、オールイングリッシュの環境作りができないか。

**答** 英語教育の推進と  
充実を図る

グローバル化の進展により複数の言語によるコミュニケーション能力が重要となるため、ALTや英語専科指導教員を配置し、より実際に近い発音の英語学習を行っている。今後は実際に使える・話せる英語が身につくような英語教育の取組の研究に努めていく。



## 問 電力の逼迫<sup>ひっばく</sup>に対して

温暖化による猛暑のなか、ウクライナでの戦争もありLNG<sup>\*</sup>や石油の入手が困難となり電力が逼迫した。小中学校には空調が設置されているが十分に利用できているのか。電力逼迫を気にせず利用できるように太陽光パネルを設置し地産地消を進めたらどうか。

\*LNG…液化天然ガス

## 答 施設改修時に太陽光パネルを検討する

良好な教育環境を保つためには、安定した電力の確保が必要である。小学校2校で太陽光パネルを設置しているが、導入費用を回収するには時間を要し、設備設置の課題となっている。今後の学校施設の改修や改築に合わせ設置について検討していく。



齋藤信治 議員  
(WAKABA)

## 問 保育の質の向上を

保育は、質の向上を考える段階となった。今まで、保育サービスを受けられなかった『医療的ケア児』。就業時間の都合で、開所時間に間に合わない方。病気や冠婚葬祭などで、休日保育や一時保育が必要な方などへの保育サービスの提供を考える時ではないか。

## 答 多様な保育について協議を進める

これまで医療的ケア児の保育所入所に関する相談は寄せられていないが、個々の事例に応じ、関係機関と連携体制の構築に努める。

多様な保育のありかたと量の課題には、待機児童の解消を最優先としつつ、公私立保育所の共通課題として、協議を行っていく。



## 問 投票環境向上の取組を

誰もが気持ち良く選挙ができるように、その人の特性に応じた対応が必要であるが、高齢や障がいにより、投票に困難を伴う方への配慮はどのようになっているか。また、行政区の集会所を投票所としてお借りしている会場でバリアフリー化を検討できないか伺う。

## 答 誰もが投票しやすい環境を確保していく

各投票所では、点字器等の備品を備え、高齢者や障がいをお持ちの方が投票しやすいよう、投票環境の向上に努めている。施設の改修等を選挙管理委員会が行うことは難しいが、誰もが投票しやすい環境を構築するため、行政区への相談を含め、検討していく。



中山廣子 議員  
(公明党)

## 問 子育て世代に寄り添う取組を

「ベビーベッド貸出事業」を利用する条件は、市内に住所を有し、0歳児を養育する保護者に限られるが、里帰り出産をする方を「関係人口」と捉え、貸出を拡充できないか。また、本庁舎1階に、待ち時間に利用できるキッズコーナーの設置ができないか伺う。

## 答 貸出の拡充の検討と設置の調整をする

ベビーベッド貸出事業拡充は、市の子育て世代を広く支援する姿勢をアピールし、イメージアップが定住を促すことにもつながるので、条件の整備等を検討する。また、キッズコーナーは、子どもが安全に楽しく過ごせることは大切なので、関係課等と調整する。





中川幸廣 議員  
(白岡ビジョン)

**問** 路線バス運行後の状況と支援について

路線バスが7月1日より運行が開始された。2路線の運行だが東伸団地線は乗車人数が非常に少ない。業者としては赤字のままの運行は厳しいとのことである。この路線はコミュニティバスの色合いが強いので市として何らかの補助が出ないか伺う。

**答** 利用促進に向けた取組を実施していく

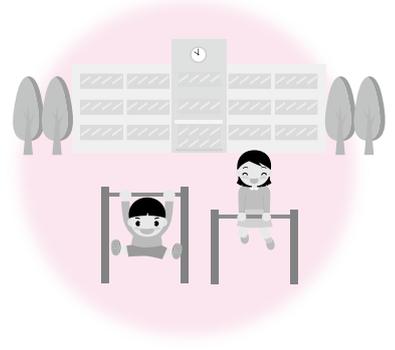
当該路線は、運行開始から日が浅い状況であることから、現在のところ、運行経費の補てんは考えていない。市では、バス購入に対する助成や事業運営に協力するための積極的な周知を行っている。今後も引き続き利用促進に向けた取組を実施していく。

**問** 学校開放時の道具や設備について

土曜日や日曜日の学校開放時に使用する道具や設備、その中に使用できない物があると保護者より相談がある。使用できない物を無理に使用し事故が発生する場合もある。これらの道具や設備の点検や修理は誰が行うのか伺う。

**答** 適切に管理していく

施設の鍵の管理や物品等の購入、修理などを学校開放運営委員会に委託しており、学校開放運営委員会が対応できない設備の修理、点検については、市教育委員会が行っている。今後も、利用団体が安全で快適に利用できるよう、道具や設備を適切に管理していく。



細井 公 議員  
(WAKABA)

**問** 都市計画道路白岡篠津線の現状について

都市計画道路白岡篠津線は、県道間のバイパスとして県道認定の要望が必要と考えるのがいがか。また、県道白岡停車場南新宿線との取付部の丁字路について、早急な信号機設置を求めるが考えを伺う。

**答** 関係機関等に要望や相談を行っていく

県道の認定は、道路法第7条の規定により実現は難しいと思われるが、埼玉県へ要望を行っていききたい。また、信号機は、久喜警察署から、交差点に歩行者の信号待ちの滞留場所が無いことから、設置は難しいと伺っている。対応を地元行政区長と相談していく。

**問** 白岡駅の駅員不在の問題について

白岡駅は利用客数がある程度順調に推移している状況であるにも関わらず、一部時間帯の駅員不在は変わらず、不便な状況が続いている。駅員は単に案内係ではなく、駅構内の安全点検の役割もある。住民の安全確保のためにも駅員の再配置を強く要望すべきではないか。

**答** 駅員不在時間帯短縮等の要望をしていく

改札係員不在時間帯の短縮及び改札係員不在時の安全対策の充実については、JR宇都宮線整備促進連絡協議会の活動を通じ、要望してきた。駅を利用している市民の安全と利便性に関わる問題であるので、今後も継続して要望していく。



**問** アピランス（外見）  
ケアの支援は

がん患者のアピランス（外見）ケアは、社会参加や就労、生活の質を守るために大切なことである。相談センターなどの周知をしては。また、ウィッグや乳房補正具・眉毛シールなどの購入は高額になる場合がある。寄り添う支援のために助成をしてはどうか。

**答** アピランスケアの  
周知をしていく

相談センターなどの案内を含めてアピランスケアについて公式ホームページに掲載した。今後も適宜周知をしていく。また、ウィッグなどの購入に対する助成については現在のところ行っていないが、心理的負担を軽減することは重要であると考えている。



菱沼あゆ美 議員  
(公明党)

**問** 防災の更なる強化を

避難所運営職員は、地域と日頃から顔が見える関係を持つべきである。どのように、取り組むか。また、夏の猛暑では児童生徒と避難者の命を守るために、避難所となる学校体育館にエアコン設置が喫緊の課題ではないか。真剣に検討し、実現すべきではないか。

**答** 避難所の安定運営の為の  
取組を推進する

地域の自主防災組織と避難所運営職員が訓練を通じて相互理解を図るなど、災害時の避難所の早期開設と安定運営への取組を推進していく。また、学校体育館へのエアコン設置は、教育上の安全や避難所としての必要性を考慮し、施設の改修に併せて検討していく。



**問** 有害な男らしさ

あるリポートのジェンダーギャップ順位では、日本は146か国中、116位である。伝統と称してこのことを肯定しかねない状況である。暴力や性差別的な言動につながりやすい「有害な男らしさ」を視点に一步前に踏み出す政策を期待するがいかかがか。

**答** 時代に即した施策を  
展開する

社会全体として少しずつ性別役割意識に変化の兆しが出ている。そのような中、女性のみならず、男性の生きづらさという視点も持ち合わせ、現状や課題を明確に捉えた上で、男女共同参画プランに基づき時代に即した施策を展開できるように努める。



遠藤 誠 議員  
(WAKABA)



教育支援センター

**問** 学校において

教育支援センターが条例設置に変わり、6月議会では目的が「学校へ戻る」から「自立」に変わった。センターの責任者が教員のOBで生徒たちが行きやすくなっているのか。単に条文が変わっただけでなく、教員の意識は変わったのか。

**答** 将来の社会的自立のため  
工夫を重ねる

条例の改正については全職員で共有している。今後も利用する児童生徒一人一人の状況に合わせて、利用時間や活動内容を柔軟に調整するなどの工夫を重ねることにより、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的自立を目指していくよう支援を継続していく。



松本栄一 議員  
(創政会)

**問** 地域部活動推進事業について

当事業は県の実践研究として昨年度は4校10部活動で実施し、5年度以降に全部活動を移行の予定である。県内他市より先んじて教員の働き方改革の成果を得るとともに、生徒の目標達成に寄り添い、チームワークを重要視した指導が必要だがいかがか。

**答** 生徒の成長を目指して事業を推進する

地域部活動への移行による教員の働き方改革を推進しつつ、生徒たちが思い描く自分やチームの実現に向け、指導者の研修を実施していく。また、指導者が生徒へのアプローチや支援を続けていくことで、チームワークの向上が図られるよう事業を推進していく。

**問** 通学路及び生活道路の安全対策について

通学路及び生活道路とも、路側帯やグリーンベルトが、劣化や工事跡により効果を発揮していないが、今後の補修計画はあるか。また、信号機がない交差点は路面に白文字の「止まれ」が大部分だが、標識と同じ赤地に「止まれ」に改良して注意喚起を図れないか。

**答** 通学路を優先して補修等を実施している

劣化した路面標示の補修は、市内小・中学校の通学路調査の結果や行政区からの要望などを基に、通学路を優先して実施している。「止まれ」の路面標示は、行政区長等の要望に基づき、特に対応が必要と思われる箇所の下地を赤くする改修を実施していく。



危険の多い交差点



野々口真由美 議員  
(TSUNAGU)

**問** 行政のDX（デジタル活用）について

65歳以上の人口がピークを迎えると推測される2040年。現在の半数の公務員で業務をこなす必要があるといった話もある。働き手の減少をカバーするためにデジタル化は必須である。持続可能な白岡市の実現のためにデジタル化の現状と課題について伺う。

**答** しっかりとした体制を構築し取り組む

職員の事務作業の軽減やペーパーレスの推進を目的として、電子決裁、文書管理等のシステム化を検討している。AI等の活用は、他自治体で様々な取組の導入実績があるので、それらを参考に検討したい。DXの推進には、知識、人材、予算等多くの課題がある。

**問** 目的を明確にした情報発信と活用を

広報しらおかやSNSなどを利用した行政情報の発信の改善と公式LINEの運用を求める。また、スマホが活用できる市民を増やすために、市民アドバイザーの養成を。さらに市外へ魅力を発信する目的を明確にし、PR手法を用いたシティセールスを提案する。

**答** 情報発信力と市の認知度の向上に努める

広報紙改善のための市民ニーズの把握やツイッターによる情報発信の改善、5年1月末を目途に公式LINEの導入に取り組む。また、デジタル活用推進のため、公民館講座等の多様な学習機会の提供に努め、市の認知度向上のためのPR手法を調査研究する。



**問** 介護保険制度の見直しについて

財務省・厚生労働省は6年からの見直し案を出している。内容はケアプラン料の有料化を始め、利用者や市の負担増になる項目が多い。市として準備しておくべきではないか。同時に健康長寿を保つためにも高齢者の居場所づくりに力を入れるべきだがいかがか。

**答** 高齢者等の状況を把握し計画を作成する

高齢者等実態調査で把握した高齢者等の状況や国が示す基本方針に基づき、白岡市介護保険等運営協議会等で協議を重ね、第9期介護保険事業計画を策定していく。また、地域サロンに職員も関わり、地域課題の抽出に努め居場所づくりなどの政策に反映していく。



石原富子 議員  
(TSUNAGU)



大島 勉 議員  
(創政会)

**問** 埼玉版スーパー・シティプロジェクトは

今回、県のプロジェクトにエントリーするにあたり、市では何を指すのか。また、立地適正化計画との関係性はどのようになっているのか。このプロジェクトは新白岡駅周辺地域のみを対象としているが、どのような街づくりが実現するのか。

**答** 安心して暮らせるまちづくりを進める

当プロジェクトと立地適正化計画は、ともに人口減少社会の課題に対応するためにコンパクトなまちづくりを進めるものである。今回の取組で得られるノウハウを生かして将来も市全体の活力を維持し、安心して暮らせるまちづくりを実現させる。

**産業建設常任委員会**

**下水処理場（中川水循環センター）について**

7月12日(火) 埼玉県中川水循環センター

中川水循環センターにおいて、公益財団法人埼玉県下水道公社中川支社の職員から下水処理及び下水道資源の有効活用等について説明を受けた。家庭や工場等から排出される汚水は、汚水管を通り、中継ポンプ場を経由しながら下水処理場（中川水循環センター）に流入し複数の工程を経て河川へ放流される。

近年、地球環境の保護、温暖化対策として二酸化炭素の排出削減など、環境問題への取組が地球規模で課題となり、県においても下水道行政を通じて真剣に取り組んでいることがうかがえた。

特に、汚水を浄化するだけでなく、水力発電に加えて、汚泥を分解処理する過程で発生するバイオガスを発電資源として有効活用していることである。バイオガス発電による年間発電量は2100世帯分で、かつ、焼却汚泥が減少したことにより、1100世帯分の二酸化炭素の削減につながる。このことは、未来への十分な取組であると感じる。



さらに、効率的なストックマネジメント計画の推進を図りながら、事業費の平準化や環境マネジメントのより積極的な推進を期待する。

日常生活で水道や電気などスイッチ一つで快適な生活を送ることができるのは、このような施設が24時間の管理により稼働されていることを忘れてはならない。一方で、市の下水道政策においては、公共下水道と浄化槽の運用に不公平が存在している点などを含めて、下水道事業の在り方を改めて検討する機会が必要であるとも感じられる。

## 《 9月議会定例会の審議結果 》

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ー：表決なし)

議案 番号	議席番号・議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決 結果	
		石 渡 征 浩	中 村 匡 志	野 々 口 眞 由 美	斎 藤 信 治	山 崎 巨 裕	関 口 昌 男	松 本 栄 一	中 山 廣 子	菱 沼 あ ゆ 美	渡 辺 聡 一 郎	加 藤 一 生	中 川 幸 廣	細 井 公	大 島 勉	遠 藤 誠	黒 須 大 一 郎	石 原 富 子	江 原 浩 之 ※		
50	市固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	同 意
51	市教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	同 意
52	市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
53	市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
54	市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
55	市入学準備金貸付条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
56	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	ー	原案可決
57	埼玉東部消防組合の規約変更について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
58	令和4年度 一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
59	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
60	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
61	介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
62	蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
63	令和3年度 一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	ー	認 定
64	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認 定
65	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認 定
66	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認 定
67	蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認 定
68	水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決及び認定
69	公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決及び認定
70	農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決及び認定
71	市教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	同 意
72	令和4年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
議提案 第3号	議案第57号「埼玉東部消防組合の規約変更について」に対する附帯決議	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
議提案 第4号	安倍晋三元首相の国葬に反対する決議	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	○	ー	否 決

※ 18番 江原浩之議員は議長のため、採決には加わっていません。

# 議会日誌

※主なものを掲載しています。

## 8月

- 19日 議会運営委員会
- 25日 本会議(開会・議案説明)
- 29日 本会議(一般質問)
- 30日 本会議(一般質問)  
タブレット端末導入・利用検討委員会
- 31日 本会議(一般質問)

## 9月

- 2日 議会運営委員会  
本会議(議案質疑)  
議会広報常任委員会
- 6日 総務常任委員会
- 7日 文教厚生常任委員会
- 8日 産業建設常任委員会
- 9日 総務常任委員会
- 12日 文教厚生常任委員会

- 13日 産業建設常任委員会
- 20日 議会運営委員会  
本会議(議案採決・閉会)  
タブレット端末導入・利用検討委員会
- 26日 議会広報常任委員会

## 10月

- 4日 市制施行10周年記念植樹
- 5日 蓮田白岡衛生組合議会定例会
- 11日 議会広報常任委員会  
埼玉東部消防組合議会定例会
- 18日 県議長の役員会
- 24日 総務常任委員会の所管事務調査
- 27日 全員協議会  
議会運営委員会
- 28日 埼玉東部消防組合議会定例会

7月19日の総務常任委員会の所管事務調査、7月26日の文教厚生常任委員会の所管事務調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

## 9月議会定例会傍聴者数

本会議 市内 31名 市外 0名 合計31名  
委員会 市内 21名 市外 0名 合計21名  
※委員外議員16名を含む

## 次回の議会は

# 11月24日(木)開会予定です

本会議・委員会の傍聴に  
いらしてください  
(受付は市役所4階です)



市制施行10周年記念事業として、消印スタンプラリーを開催しています。市内の郵便局で配布しているスタンプラリー台紙に63円以上の切手を貼付して各郵便局で記念スタンプを押してもらい、全部集めると記念品がもらえます。  
実施は5年3月31日まで。  
(平日のみ)

## 議会広報常任委員会

委員長	中村 匡志
副委員長	中山 廣子
委員	野々口 眞由美
委員	斎藤 信治
委員	山崎 巨裕
委員	渡辺 聡一郎
委員	黒須 大一郎

## 編集後記

本年10月1日で、白岡市が誕生して10周年の節目を迎えました。議会だよりの表紙のテーマも前号より「白岡市制施行10周年—白岡市の歴史と未来—」となりました。限られた紙面ではありますが、内容の充実を図り、皆様に手に取って読んでいただける議会だよりを作ってまいります。  
(中山)